

□ 今月のことば □



## 弁理士は一人一人が広報委員

副会長 伊藤 高英



日本弁理士会においては、平成4年度に広報委員会がスタートしました。平成4年度から出願受付が開始されるサービスマークの保護に対して弁理士会および弁理士がサポートすることを、ラジオコマーシャルを通して一般人にアピールすることを一目的とするものでした。広報委員会は、その後平成13年度に広報センターと名称を改名して活動を継続しております。これまでの広報活動に対して会員の皆様方にはご理解とご支援をいただきましてありがとうございます。

発足から本年度までの延べの委員数は250名程に達しておりますが、一般人に対する日本弁理士会および弁理士の認知度の向上につきましては、未だ志半ばであるのが実状であります。そこで、一般人の最も身近にいる会員である弁理士一人一人が、自分のできる範囲で弁理士のことおよび日本弁理士会のことを一般人に知らせる広報活動に参加してみようではありませんか。広報センターにおきましては、この各会員の広報活動に利用可能なパンフレット、新聞等の広報資料を企画作成しております。これらを利用して各会員が身近な所より一般人に対する広報活動をどしどし進めて下さることをお願い申し上げます。また、広報資料に関するご意見ご希望を広報センターまでお寄せいただきたいと思います。

### 小学校に戻ろう

広報センターにおきましては、各会員にも利用していただける新しい広報資料を企画作成中であります。具体的には、小学校高学年(中学校低学年を含む)を主たる対象として知的財産に関するポスターを企画作成しております。このポスターは、1年3学期の各学期毎に発行することを目指しております。このポスターの第1号は、本年11月末に発行する予定であります。発行の暁には、全国の小学校、中学校および教育委員会に発送しますとともに、各会員に対しても発送いたします。そこで、各会員におかれましては、それぞれが広報委員に自発的に就任していただきまして、各自の環境に合わせまして、ご自身の卒業された母校の小学校や子孫の通学される小学校に戻られて、知財ワールドの存在をご紹介いただきたいと思います。

この小学校に戻ろうの企画には、次のような企画理由があります。

- 1 本企画は、知財大綱にうたわれている、若い世代への知財マインドの啓発を実現する1手段であります。更に、今回の法改正の国会審議の中にも若い世代への知財マインドの啓発教育の必要性があるとのご意見がありましたので、これにも応える手段となります。
- 2 日本弁理士会の社会貢献の1施策であり、日本の津々浦々の全小中学校および教育委員会に行き渡るポスター配布であり、外部の方々に具体的に目で見て把握していただける効果を持っております。
- 3 日本弁理士会からの情報が各学期ごとに配布されることにより、若い世代の心の中に知財ワールドや弁理士および日本弁理士会のイメージを強くいただけてもらえる可能性を秘めております。

### 火曜フォーラム

本年7月より、原則的に毎週火曜日の午前11時から12時の間に、弁理士会3階会議室(大阪および名古屋とTV会議システムによって接続)において火曜フォーラムを開催しております。日本弁理士会におけるホットな情報を講師と会員との間でface to faceの形で提供することを目的としております。火曜フォーラムの開催日毎のテーマおよび講師に関する情報並びに結果のレポートは、日本弁理士会のホームページの

会員専用の電子フォーラムに掲載いたしておりますので、是非ご確認下さるとともに、会場において下さい。既に10数回開催しております。火曜の朝には日本弁理士会で貴重な情報をゲットしてください。

## 研修トピックス（その2）

本誌9月号の「正副会長の活動状況」に掲載いたしました研修トピックスの続報を以下にまとめました。

### 特定侵害訴訟代理権を目指す基礎研修スタート

平成15年度より開始される特定侵害訴訟代理権を得るための研修を受講する際に必要とされる民法および民事訴訟法に関する基礎知識の習得を目的とした基礎研修がスタートいたしました。全国の9大学（関東：青山学院大学，神奈川大学，慶應義塾大学，中央大学および日本大学，大阪：関西大学および立命館大学，名古屋：愛知大学および名城大学）において，受講生総数約720名の規模で，基礎研修が次々とスタートいたしました。各校における研修とも，出席率が90%以上であり，受講している弁理士の皆様は熱心に勉強されております。研修の主催者側の大学より，受講生の熱意と真剣な態度に大きな評価を受けております。研修所におきましては，日本大学の許可を得て，同学における講義をビデオに収録し，希望される会員に有料頒布して，大学における基礎研修を受講不可能な方々にも，間接的な受講を可能とするように企画中であります。

### 新企画の研修

既にご案内のように，先端科学技術研修が本年4月より開始されました。本年の前期コースとして，慶應義塾大学において情報工学研修コースを，早稲田大学においてバイオテクノロジー研修コースを，それぞれ全10回の講義を実施いたしました。本年の後期コースは両大学の講義内容を入れ替えて現在実施中であり，講義内容は，日本弁理士会の研修所運営委員と大学の担当講師との綿密な事前打ち合わせによって弁理士に有意義な内容となるようにされております。本年後半には，更に他の大学において講義テーマを拡大する方向で鋭意企画中であります。

研修のIT化を目指して，本会のホームページのトップページにインターネットを利用したIT研修の実行を目指した試行をアップロードしておりますので，ご覧いただきますとともにご意見をお寄せ願います。

平成14年度も後半に入りました。更なるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。